

もみじ

県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページへ掲載しています。
県立広島病院で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)



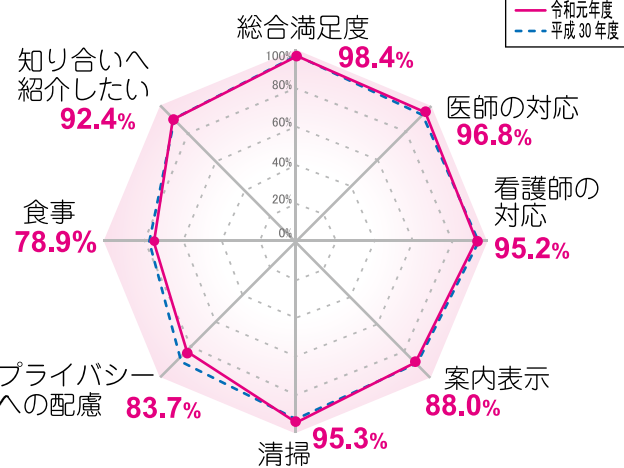
理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

患者さん満足度 アンケート調査の報告

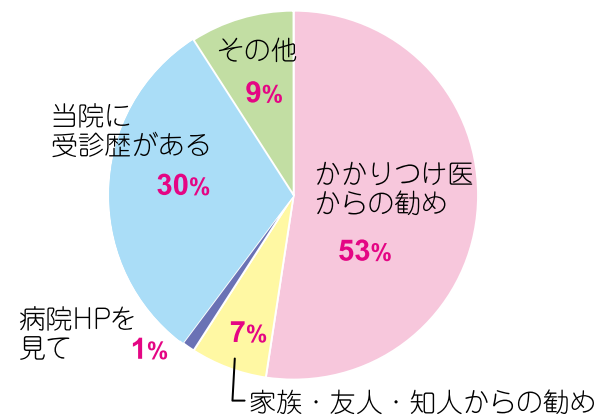
当院では毎年1回、入院患者さん及び外来患者さんに満足度調査を実施しています。多数の患者さんに御協力を頂き、誠にありがとうございました。その結果をお知らせいたします。尚、今後ともお気づきの点がございましたら、院内常設のご意見箱へお寄せ下さい。

入院 ● 調査期間：令和元年11月
● 調査母数：581人

● 満足度



● 当院を選んだ理由

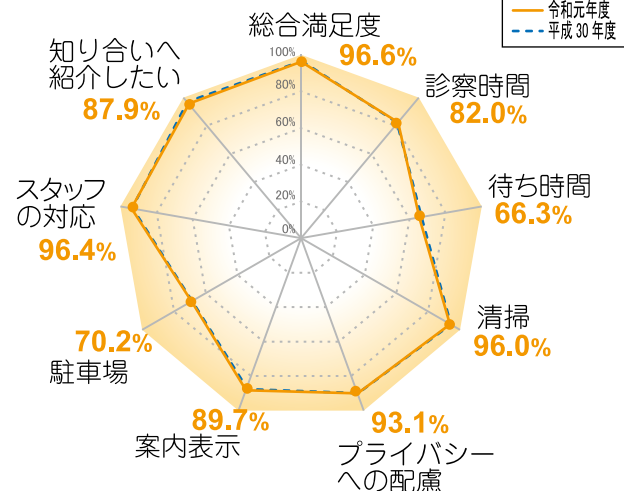


昨年度同様に総合満足度や接遇に関する項目の満足度が高い一方、食事、駐車場、待ち時間については比較的満足度が低く、継続の課題であることがわかりました。

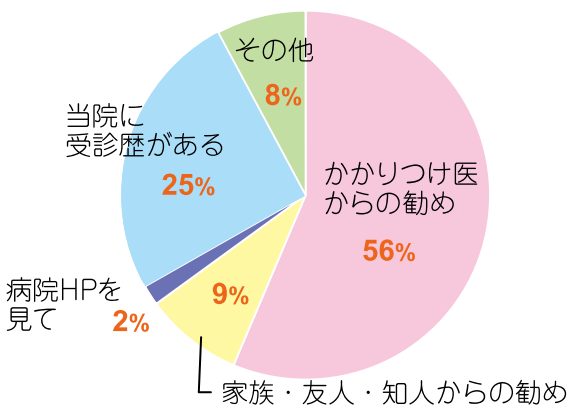
今後とも、患者さんの満足度の向上のために、予約枠の見直しなど、待ち時間の改善に取り組んでまいります。

外来 ● 調査期間：令和元年11月
● 調査母数：1,958人

● 満足度



● 当院を選んだ理由



新型コロナウイルスに関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、やむを得ず入院患者さんへの面会禁止や、外来診療を一部変更させていただいております。

随時お知らせを更新していますので、詳細は当院ホームページ等でご確認ください。

皆様にはご心配とご不便をおかけしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

教えて Dr.



専門診療医による得意治療を紹介いたします。

遺伝性乳がん卵巣がんを知っていますか？

乳腺外科



乳腺外科 部長
みどり 野間 翠

◆がんの遺伝子？

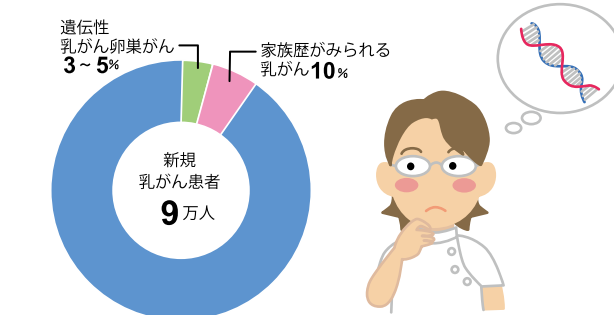
2013年に女優のアンジェリーナ・ジョリーさんが「自分は乳がん遺伝子を持っているので予防的乳房切除を受けました」と公表し大きな話題を呼びました。このニュースで「乳がんの遺伝子って検査できるの？」と思われる方も多いのではないのでしょうか。

がんは遺伝的要因と環境要因、両方の要素が組み合わさって発症します。この遺伝的要因の一つ、BRCA という遺伝子に変異があった場合にはその人は50～80%の確率で乳がん、20～40%で卵巣がんを発症することが分かっています。そしてその遺伝子は親から子へ1/2の確率で受け継がれますので、この家系は乳がんと卵巣がん患者さんの多い家系となります。他にも前立腺がんや膵がんの発症リスクが上がるとされています。

何やら恐ろしい遺伝子に思えるかもしれませんが、これは病気が解明されてきたということです。「よくわからないけどがんが多い家系」だったのが「この家系のこの人は乳がん・卵巣がんにかかりやすいので対策が必要」と医学的な対応を打てるようになったのです。アンジェリーナ・ジョリーさんの予防的乳房切除も然り、乳がん検診や前立腺がん検診といった対応もそうです。

◆遺伝子の検査と遺伝カウンセリング

乳がん患者さんの3～5%がBRCA遺伝子に変異を持つ遺伝性乳がん卵巣がんに該当すると言われています。ご家族に乳がんや卵巣がんの方がおられたり、若いうちの発症だったりする場合にはこの春からBRCAの遺伝子検査が保険診療でできるようになりました。検査は採血するだけの簡単なものですが、詳しい説明と今後の対応を検討する「遺伝カウンセリング」の時間を事前にとらせてもらっています。

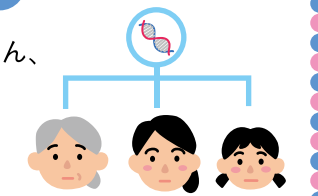


この検査は乳がん、卵巣がんなど一部のがんにのみ対応したもので、また、乳がん、卵巣がんのすべての遺伝子変異を見ているわけでもありません。がん発症を遺伝子から予測する技術はまだまだ限られたものですが、どのように利用して医療現場で応用するか、よく考えていかないとはいけません。

遺伝子検査の対象となる人(抜粋)

- 乳がんを発症し、以下のいずれかに当てはまる
 - 45歳以下の乳がん発症
 - 60歳以下のトリプルネガティブ乳がん
 - 2個以上の乳がん
 - 第3度近親者内に乳がん又は卵巣がん発症者がいる

- 卵巣がん、卵管がん、腹膜がんの発症
- 男性乳がん



次頁に続きます

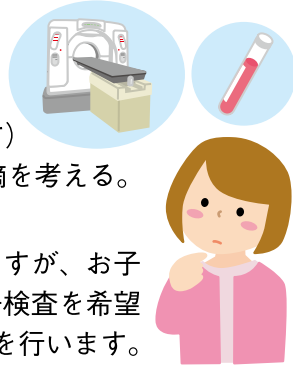
Q.1 もしも BRCA 遺伝子の変異が陽性だったら？

①自分の健康管理のために

- 乳房・卵巣の定期検診を受ける。
(乳房はMRI検査を行う、卵巣は腫瘍マーカーを併用するなど、通常と方法が異なります。男性は前立腺がん検診も推奨されています)
- 予防的乳房切除、卵巣切除を考える。乳房温存術が可能でも乳房全摘を考える。

②家族のために

ご家族の方には遺伝子検査の結果をお伝えすることをお勧めしていますが、お子さんにはある程度大きくなってからでもよいと思います。ご家族で遺伝子検査を希望される方がおられた場合には改めてその方に対する評価・カウンセリングを行います。



Q.2 がんゲノム医療とどう違うのですか？

どちらも「遺伝子を調べる」という共通点がありますが、調べる対象が違います。がんゲノム医療の場合はがんそのものの遺伝子を調べますが、がんの遺伝子は患者さんの体の遺伝子から変化していることがあるので遺伝するとは限りません。BRCA 遺伝子検査はその人の体の遺伝子を血液で調べますので、がんが治った後も BRCA 遺伝子は影響します。がんゲノム医療はがん細胞そのものをみる検査、BRCA 検査は患者さん側をみる検査といえそうです。



Q.3 乳がんの治療のために遺伝子検査を行うことがある？

進行・再発乳がんの人に使う分子標的薬で「オラパリブ」という薬剤がありますが、BRCA 遺伝子変異のある人にも有効という特徴があります。「オラパリブ」を使う際には家族に乳がんの人がいるかどうか関係なく BRCA 遺伝子検査を行い、変異のある人にも使います。



Q.4 どこで遺伝子検査を受けられますか？

遺伝性乳がん卵巣がんの診療を目的として BRCA 遺伝子検査をできるのは遺伝カウンセリング体制の整った病院か、そこに連携した病院に限られています。また、遺伝子検査を受けるには発症したがんの情報が必要なため、まずがんの治療を受けた病院へ相談してください。(当院の遺伝子検査は、当院でがんの治療を行った方を対象としています)



脳心臓血管カンファレンス

脳心臓血管センター長 / 上田 浩徳

トータル・バスキュラーケアと健康寿命

近年、我が国において、75歳以上の脳卒中を含む循環器病の死亡数は悪性新生物による死亡数を上回っています。平成28年12月には脳卒中と循環器病による年齢調整死亡率を5年で5%、10年で10%低下させる目標と健康寿命を延伸させる目的で、「脳卒中と循環器病克服5か年計画」が立てられました。そこに記載されている重要3疾患とは①脳卒中②心不全③血管病(急性心筋梗塞・急性大動脈解離・大動脈瘤破裂・末梢動脈疾患)です。令和元年12月には「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」が施行されました。

平成26年に当院で発足した脳心臓血管センター(Cerebro-Cardiovascular Center:CCVC)設立の目的はまさにこの法律の理念と同様、生活習慣病の動脈硬化疾患を多数有する(多血管病)高齢者時代に、その生活の質(Quality of Life: QOL)を保ちながら健康寿命を延ばしていけるよう、全身血管を考慮して予防から治療、再発予防までを適切に対応していくことでした。すなわちトータル・バスキュラーケアです。

毎週金曜日の午前中に「脳心臓血管センター外来」を脳神経内科の仲博満先生がされています。多血管病の診断・治療の必要性がございましたら、当院の患者総合支援センター 地域連携室までご連絡ください。



外科医の独り言...no.104

— コロナゼロ —

この原稿を書いている時点で、広島も含めて全国的にコロナ感染の勢いが少し収まってきたような気がします。首相や都知事、テレビに出てくる専門家も、本当ははっきりと「減っています」と言いたいのですが、公の場でそう言い切ってしまうと「緩み」が出るのを心配してか、今一つ歯切れがよくありません。実際、規制を緩めたばかりの韓国やドイツで再びクラスターが発生し、感染者数が再び増加しており、コロナはまさに油断のならない手強い感染症のようです。

一方で、岩手県はなぜいまだに感染者がゼロなのでしょう？人口密度の高い大都市圏で圧倒的に感染者が多く、人口密度の低い地域で感染者が少ないことからいわゆる「密」が感染伝播のキーワードになっていることは間違いありません。岩手県は人口密度の低いほうから2番目なので、なるほどと納得をするのですが、実は、人口密度が一番低い北海道は、ほぼ全域に感染が広がり、感染者数からいけば全国上位5番目なので「密」だけが感染者数を規定するのではなさそうです。北海道には、雪まつりやスキーに国内外から多くの観光客が訪れ、局所的には「密」になり、加えて人の移動が多かったので、感染者が多くなったと推測されます。

話は岩手県に戻ります。なぜ感染者ゼロなのか、大変興味があります。人口密度については先ほど触れました。岩手県の地形的な特徴として、内陸部と沿岸部の生活圏に距離があり、県内での人の移動が少ないという分析もありました。とはいっても岩手県には東北新幹線が走っており、東京も含めて他県から人はある程度移動してくるはずですが、そのほかには、「岩手県民は口数が少ないので飛沫も少ない」「岩手県民は真面目で、行政の指示に従う人が多い」と、やや非科学的な県民性を理由にあげる意見もあるようです。また、意外なことに盛岡市は納豆の購入金額が全国1位ということで、普段から健

康に関心が高いことによる結果なのかもしれませんが。ウイルスは飛んでいるのだけれど人がいないからくっつかない、という意見、これは「密」ではないということではよさそうですが、おそらく感染予防に対する県民の意識の高さ、そしてここまでくると、感染第1号になりたくないという県民一人一人の執念が、感染ゼロをもたらしたのではと、私は勝手に思っています。

米国の超有名な医学雑誌に掲載された論文によると、コロナ感染流行期に、感染リスクが最も高い職業は、歯科衛生士、歯科医だそうです。確かにコロナ感染者の舌の表面に存在するコロナウイルスの量は、鼻咽頭の約5倍といわれており、唾液でのPCR検査の導入が検討されていることからももっともな話です。しかし、今のところ日本で、歯科クリニックの職員から感染者が出たという話を聞いたことがありません。岩手県のゼロと同様にびっくりです。おそらく普段から感染防御に対する意識が高く、正しい防御方法を実践されている成果ではないかと思えます。

そのほか感染リスクが最も高い職種として、産婦人科医、救命救急士、内科・家庭医、獣医師が挙げられていました。妊婦さんが出産に際して大声で叫ぶことが、産婦人科医にとって感染リスクとなるそうです。最も感染リスクが低い職業として、農業、木こり、画家・彫刻家が挙げられていました。確かに黙々と行う作業です。気になったのが、感染リスクが最も高い職業の中に獣医師が入っているのに、外科医は入っていないことです。獣医師がハイリスクなのは、症状を伝えられない動物の代わりに飼い主からしっかり話を聞く必要があるからだとのことです。外科医がハイリスクではないのは、患者の話を聞かないから？



副院長(消化器センター長)板本 敏行

アクリル板設置について

日頃より新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、皆様にはご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

4月より各受付窓口にアクリル板を設置いたしました。飛沫感染の防止を目的としています。アクリル板越しの対応となり、説明の声が聞き取りにくい場合があるかと思いますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。



カウンターに設置したアクリル板